

グローバル・スタートアップ・キャンパス構想 先行的活動における
ベンチャー・ディレクターの決定について

令和8年10月2日
科学技術・イノベーション推進事務局
プレスリリース

グローバル・スタートアップ・キャンパス（GSC）構想について、先行的活動の国際研究プログラムにおいて、革新的研究テーマの設定や研究プロジェクトの全体管理等で中心的な役割を担うベンチャー・ディレクターの決定を行いましたので、お知らせ致します。

グローバル・スタートアップ・キャンパス（GSC）構想では、国内外の優秀で野心的な研究者、スタートアップ、先見的なベンチャーキャピタル（VC）、アクセラレータ、企業との連携により、我が国全体のイノベーション・エコシステムの変革を促し、世界最高水準のイノベーション・エコシステムのハブを構築することをミッションとしています。

今回、この構想の先行的活動の国際研究プログラムにおいて、研究・事業化経験を有し、研究開発の将来性を見極める目利き力を備えたベンチャー・ディレクターを決定しました。このベンチャー・ディレクターは、革新的研究テーマの設定や研究代表者（PI）の採択、研究開発プロジェクト全体の推進にあたって、迅速に意思決定を行うことができる裁量を持ち、国際研究プログラムにおいて重要な役割を担います。

今後、こうしたベンチャー・ディレクターや関係省庁等とも連携しながら、革新的研究テーマの設定等に取り組み、GSC 構想の先行的活動を強力に推進していきます。

今回決定したベンチャー・ディレクター（一覧）

1. Douglas A. Wicks 氏（Renaissance Philanthropy Japan）
2. 横尾 英史 氏（Renaissance Philanthropy Japan）
3. David Schwartz 氏（SRI International）
4. 吉平 健治 氏（SRI International）
5. Philip MC Davy 氏（Stellar Science Foundation）

※ 括弧内は所属する運営支援法人

<本件問合せ先>

内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局
イノベーション担当 迫田、西田
電話：03-3581-0161（直通）



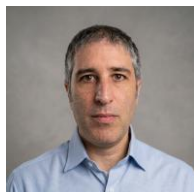
1. Douglas A. Wicks 氏（Renaissance Philanthropy Japan）

- ドイツの化学メーカー（Bayer AG）等において、約40年にわたって化学・材料分野の研究開発や事業化に従事。
- 米国エネルギー省ARPA-Eでプログラムディレクターを6年務め、重要鉱物回収等の研究開発プログラムの立上げや研究課題の採択・管理等を主導した経験を有する。



2. 横尾 英史 氏（Renaissance Philanthropy Japan）

- 一橋大学や国立環境研究所等で環境経済学等の分野で研究に従事するとともに、企業との共同研究を通じた事業化経験を有する。また、産業技術総合研究所のアドバイザーとして研究成果の事業化につなげる活動にも従事。
- Renaissance PhilanthropyにおけるARPA型研究開発のプログラムディレクター育成プログラム（BiTS Japan）に参加し、最も優れた評価を得たことも踏まえて選定された。



3. David Schwartz 氏（SRI International）

- 米国企業の研究機関（Xerox PARC等）において、情報システム、AI、センシング等の研究開発に従事したほか、研究成果の特許化・ライセンスやスピンアウト等の事業化も推進。
- Xerox PARC等では、研究ポートフォリオの統括・管理を担うとともに、ARPA-Eをはじめとする政府機関から資金提供を受けた複数の研究プロジェクトを主導。



4. 吉平 健治 氏（SRI International）

- NEC Laboratories America等において、AI・機械学習を活用した研究開発に従事したほか、開発システムの米国の航空宇宙システム等への展開や事業化、スタートアップ支援の経験を有する。
- NEC Laboratories America では、AI・機械学習等の先端分野で研究テーマの企画や研究開発ポートフォリオの管理にも従事。



5. Philip MC Davy 氏（Stellar Science Foundation）

- バイオテクノロジー分野で15年以上の研究経験を有し、日米欧の製薬企業・バイオ企業との共同研究開発やJ-Startup企業に選定されたスタートアップでの事業化に従事。
- ハワイ大学等で幅広い研究領域の橋渡し研究や新規疾患モデルの開発を主導し、研究開発上の重要課題を見極めながら研究資源を配分した経験を有する。